

【2021 年度/専門科目領域/専門基礎科目群/心理学系/旧カリキュラム】

科目名	ナンバリング	区分 (必修・選択)	単位数	履修年次	開講学期等
児童心理学		必修 (心) 選択 (理.作.社.精)	2	2.3	前期
担当教員	研究室	電子メール ID		オフィスアワー	
瀧口 綾	B305	atakiguchi		火曜日 12:10~13:00	
授業の目的・概要	<p><目的>乳幼児期、児童期における子どもの身体面及び精神面の発達の変化と心理的特徴について基本的知識を学習することで、子どもの行動や心理面を理解できる視点を身につけることを目的とする。現代の子どもをとりまく環境や課題について理解し検討することを目的とする。</p> <p><概要>子どもの成長・発達の理解を深める体験学習を行い、資料や統計データをもとに現代に生きる子どもの課題等について意見交換を通じて理解を深める。</p>				
学 習 上 の 助 言	講義中に生じた疑問はそのままにせず積極的に質問し学びを深めて欲しい。				
教 科 書	教科書は指定しない。必要に応じてプリントを配布する。				
参 考 書	図でよむ心理学 発達 改訂版/編著:川島一夫/福村出版 子どもを育む心理学/編著小林芳郎/保育出版社				
学生が達成すべき行動目標			関連卒業認定・学位授与方針		
①	乳幼児期・児童期の子どもの心身の発達や変化と心理・行動的特徴などに関する知識・技能を習得し、子どもの行動について理解することができる。			HSU(1)、(2)、WP(1)、(5)	
②	現代の子どもを取り巻く環境及び課題について理解し考察することができる。			WP(3)、(5)	
③					
④					
⑤					
⑥					
授 業 計 画					
回	学習内容等	授業の方法	学習課題・学習時間 (時間)		
1	オリエンテーションを行う。 生涯発達の考え方、子どもを取り巻く環境について学ぶ。	同時双方向型授業	授業後にリアクションペーパーを提出する。	2	
2	運動能力と身体の発達について学ぶ。	同時双方向型授業	前回の授業に関するコメントを踏まえ復習する。	3	
3	感覚・知覚の発達について学ぶ①。	同時双方向型授業	前回の授業に関するコメントを踏まえ復習する。	3	
4	感覚・知覚の発達について学ぶ②。	同時双方向型授業	前回の授業に関するコメントを踏まえ復習する。	3	
5	情緒・感情の発達について学ぶ①。	同時双方向型授業	前回の授業に関するコメントを踏まえ復習する。	3	
6	情緒・感情の発達について学ぶ②。	同時双方向型授業	前回の授業に関するコメントを踏まえ復習する。	3	
7	愛着の発達について学ぶ①。	同時双方向型授業	前回の授業に関するコメントを踏まえ復習する。	3	
8	愛着の発達について学ぶ②。	同時双方向型授業	前回の授業に関するコメントを踏まえ復習する。	3	
9	親子関係、友人関係について学ぶ。	同時双方向型授業	前回の授業に関するコメントを踏まえ復習する。	3	
10	認知の発達について学ぶ①。	同時双方向型授業	前回の授業に関するコメントを踏まえ復習する。	3	
11	認知の発達について学ぶ②。	同時双方向型授業	前回の授業に関するコメントを踏まえ復習する。	3	
12	言語能力の発達について学ぶ。	同時双方向型授業	前回の授業に関するコメントを踏まえ復習する。	3	
13	遊びの発達について学ぶ。	同時双方向型授業	前回の授業に関するコメントを踏まえ復習する。	3	
14	発達のつまずきについて学ぶ。	同時双方向型授業	前回の授業に関するコメントを踏まえ復習する。	3	
15	これまでの学習の総括を行う。	同時双方向型授業	これまでの授業内容を振り返り各自整理する。	19	
試	レポート試験 達成度評価・評価のポイントを参照				

【2021 年度/専門科目領域/専門基礎科目群/心理学系/旧カリキュラム】

総合評価割合 (%)		達成度評価					合計
		試験	レポート	成果発表	ポートフォリオ	その他	
		0	70	0	0	30	
総合 力 指 標	知識・技術力	0	20	0	0	10	30
	思考・推論・創造する力	0	20	0	0	10	30
	協調性・リーダーシップ	0	0	0	0	0	0
	発表・表現伝達する力	0	0	0	0	0	0
	コミュニケーション力	0	0	0	0	0	0
	取組みの姿勢・意欲	0	20	0	0	10	30
	問題を発見・解決する力	0	10	0	0	0	10
評価のポイント							フィードバックの方法
評価方法	行動目標	評価の実施方法と注意点					
試験	①						
	②						
	③						
	④						
	⑤						
	⑥						
レポート	①	✓	レポートのテーマは授業中に発表する。評価は、内容（聞かれたことに答えているか、自分の意見を述べているか）、文章の構成、誤字・脱字等で行う。				コメントを付し返却する。全体講評を行う。
	②	✓					
	③						
	④						
	⑤						
	⑥						
成果発表	①						
	②						
	③						
	④						
	⑤						
	⑥						
ポートフォリオ	①						
	②						
	③						
	④						
	⑤						
	⑥						
その他	①	✓	毎回授業終了後にリアクションペーパーを提出する。リアクションペーパーに関して、授業内容の理解、新しい気づき及び疑問点、感想について記述する。				毎回授業の最初に前回の授業の振り返りを行い、質問に回答する。
	②	✓					
	③						
	④						
	⑤						
	⑥						
備 考							
<p>*Teams を使った同時双方向型授業を行います。課題ダウンロードを行いますので、授業時は通信容量が無制限の Wi-fi 環境を推奨します。</p> <p>*今後の新型コロナウイルス感染症の状況など社会情勢によって再度シラバスの変更もあります。</p> <p>教員の実務経験： 臨床心理士として 20 年の心理相談業務の経験を有する。</p> <p>実践的授業の内容： 臨床心理士としてのこれまでの専門性と経験を講義に生かしながら学習を進める。</p>							